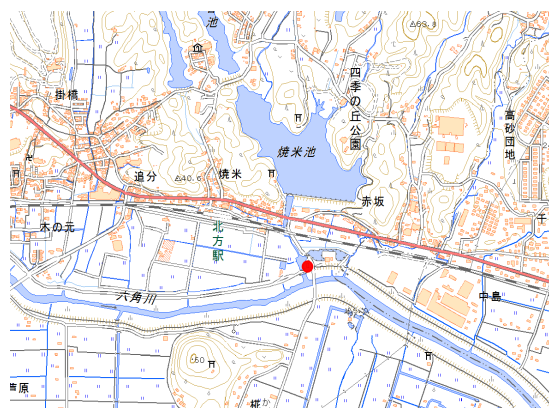


番号	77	六角川治水碑	陣内孝雄書
所在地	武雄市北方町志久		
災害別	平成2年（1990）水害		
目的別	記念碑	建立年	平成7年7月
特記事項	令和5年現在、説明パネルは退色し図は判読不能		



六角川堤防沿いに建てられた記念碑と共に、平成2年水害の状況とその後の六角川の治水対策を記した説明パネルが設置されている。この碑の裏面には「激甚災害特別対策事業 記念 平成七年七月 六角川改修期成同盟会」と記されている。また、説明パネルには、平成2年水害と六角川の治水対策として、「平成2年7月1日から降り出した雨は、六角川流域で総雨量400mm～500mm、7月2日の4時から10時までの6時間だけでも284mm（矢筈観測所）という観測史上最大の集中豪雨となりました。このため、六角川水系では未曾有の大洪水となり7月2日には随所で破堤、溢水が生じました。あふれた濁流は流域の広い範囲で市街地、家屋、田畑を呑み込み、浸水家屋8,686戸、浸水面積10,430ha、被害額484億円という大水害となり、流域住民の



国土地理院電子国土 Web

財産を奪い生活を破壊しました。

建設省ではこのような災害が再び起きないように、六角川水系の中上流部約41kmの区間を「直轄河川激甚災害対策特別緊急事業」に採択し、平成2年度から平成6年度までの5年間に330億円の投資を行って、六角川水系の全域にわたって大規模な治水対策を実施しました。（事業概要略）平成7年7月 建設省九州地方建設局武雄工事事務所」と記されている。



激特事業で建設された牟田部遊水池（多久市）



H2. 7 梅雨前線 六角川中流(北方)



H2. 7 梅雨前線 牛津川中流(牛津)

H2 水害の状況 写真；国土交通省武雄河川事務所



六角川と白石平野